

アンケート調査における各調査票の変更点（概要）

第 8 期調査設計に当たって

- 前は「フレイル予防」や「在宅療養後方支援」などの周知や意向など、キックオフ的な要素が強かったが、この3年の取組によりどちらも初期段階から成長・成熟段階へ突入した。
- このため、今回の調査においては「フレイル予防」や「在宅療養後方支援」という言葉はあえて表に出さず、日常の中で、いかに健康管理や介護予防の取組が根付いているか、いかに必要な医療を利用しながら在宅で暮らし続けるかを把握するような設問構成に留意した。
- また、調査対象者に横断的に聞く質問と対象を限定して聞く質問を精査し、できる限り設問数を増やさず、回答者の負担軽減や回収率向上に寄与するよう留意した。

① 高齢者一般調査

設問数	前回 75 問（付問含む）	今回 59 問（付問含む）
主な変更点		
<ul style="list-style-type: none"> ・回答者の負担軽減や回収率の向上のため、質問を集約し設問数を圧縮 （集約した項目：住宅や住まい、認知症、高齢者虐待、介護サービス等） ・一般高齢者向けに、生きがいや地域活動、日常生活、健康管理などの設問を充実 		
委員意見の反映		
<ul style="list-style-type: none"> ○「(6) 介護予防」の枠内では「福祉に関する情報」という抽象的な表現ではなく、「介護予防に関する情報」とすべき。フレイル予防の周知、取り組んでいる介護予防の設問も必要。 ⇒「(2) 日頃の生活」に問 7 「福祉に関する情報」として移動。介護予防の枠をなくし、健康管理や生きがいなどの項目を充実。 ○「(7) 認知症や権利擁護」の枠内とするならば高齢者虐待や成年後見制度なども必要。 ⇒枠を「(6) 認知症」に集約。 ○「認知症で心配な事」を聞いたら、認知症になっても地域で住み続けられる仕組みを設問にするべき。 ⇒問 31 「認知症の方に対して地域でできること」を新設。 ○用語の解説が必要。（全調査票に共通） ⇒調査票のレイアウトの際に用語の説明を追加。（全調査票を対象） 		

② 若年者一般調査

設問数	前回	今回
	45 問（付問含む）	44 問（付問含む）
主な変更点 ・若年性認知症や認知症予防に関する設問を追加・充実。（問 20～問 25）		
委員意見の反映 ○「（4）健康管理」に介護予防に関する設問を追加すべき。 ⇒「第 8 期調査設計に当たって」記載の方針により今回は割愛。 ○認知症に関する設問は（5）にまとめた方がいい。認知症になっても地域で住み続けられる仕組みを設問にするべき。 ⇒認知症に関する設問を「（5）認知症」に集約。問 25「認知症の方に対して地域でできること」を追加。		

③ 介護保険在宅サービス利用者調査

設問数	前回	今回
	66 問（付問含む）	48 問（付問含む）
主な変更点 ・医療に関する設問は調査 8「在宅医療と介護に関する調査」と棲み分け、設問を精査。 ・介護者に関する設問は調査 11「在宅介護実態調査」と棲み分け、設問を削除。		
委員意見の反映 ○「（4）健康管理」に介護予防に関する設問を追加すべき。 ⇒「第 8 期調査設計に当たって」記載の方針により今回は割愛。 ○「（8）介護者の状況」は調査 11「在宅介護実態調査」と重複するのではないか。 ⇒「介護者」に関する設問を削除。		

④ 介護保険施設・居住系サービス利用者調査

設問数	前回	今回
	25 問（付問含む）	42 問（付問含む）
主な変更点 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の施設での「みとり」についての設問を追加。（問 11） ・利用者負担軽減制度の認知についての設問を追加。（問 16） ・高齢者虐待に関する設問を追加。（問 18、19） 		
委員意見の反映 <p>○施設における「みとり」とはどういうものかの解釈が必要。 ⇒調査票のレイアウトの際に用語の説明を追加。</p>		

⑤ 介護保険サービス未利用者調査

設問数	前回	今回
	52 問（付問含む）	49 問（付問含む）
主な変更点 <ul style="list-style-type: none"> ・「治療中の病気の有無」と「医療の受診形態」など重複する設問を精査。 ・自分の地域の在宅介護支援センターの認知を問う設問に変更。（問 23） 		
委員意見の反映 <p>○調査対象者は、要支援・要介護認定者だけでなく、事業対象者のサービス未利用者についても必要なのではないか。 ⇒調査対象者をある程度絞るため、「要支援・要介護認定者のうちのサービス未利用者」とした。</p> <p>○認知症や権利擁護についても聞いた方がよい。 ⇒「第 8 期調査設計に当たって」記載の方針により今回は割愛。</p> <p>○サービス未利用者だからこそ、介護予防についても聞いた方がよい。 ⇒「第 8 期調査設計に当たって」記載の方針により今回は割愛。</p> <p>○サービスを利用していない人に対する質問は、利用している人より、より詳細の説明が必要。 ⇒調査票のレイアウトの際に用語の説明を追加。</p>		

⑥ 介護保険サービス事業者調査

設問数	前回 30 問（付問含む）	今回 47 問（付問含む）
<p>主な変更点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の運営方針に、ICT や介護ロボットの導入（問 18）や外国人人材の受け入れ（問 19）を追加。 ・別調査で実施していた「職員の処遇改善」についての設問を追加。（問 21～27） ・同時期に国による調査が市内事業所を対象に実施されることから、回答者の負担とならないよう設問内容や量に配慮すること、国調査の結果を分析に活かすことに留意。 		
<p>委員意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ○問 13 は「利用者・家族からの苦情」ではなく「苦情・ヒヤリハットの内容」とすべき。 ⇒ヒヤリハットの内容は多岐にわたるため、苦情の内容を「サービス」や「利用手続き」「職員の態度」などの選択肢で分類し傾向を把握する。 ○コンプライアンス、リスクマネジメント（介護事故など）についての取り組みの項目があってもよい。 ⇒問 15「サービスの質の向上に向けた課題や今後の取組」や問 24「処遇改善策」で対応。 ○「自立支援・重度化防止」を意識したサービスの提供を行っているか ⇒問 16 に「利用者の望む生活（自立支援）を意識したサービス提供を行っているか」を追加。 ○認知症・高齢者虐待・事故防止についての研修を行っているか。介護者の支援に取り組んでいるかの設問が必要。 ⇒「第 8 期調査設計に当たって」記載の方針により今回は割愛。 ○訪問介護や通所介護事業者からみた総合事業サービスの受け入れについての設問も必要。 ⇒「第 8 期調査設計に当たって」記載の方針により今回は割愛。 		

⑦ 介護支援専門員調査

設問数	前回	今回
	47 問（付問含む）	46 問（付問含む）
主な変更点 <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン困難事例の有無や医療的ケアについての設問などを精査・割愛。 ・同時期に国による介護支援専門員向けの調査が市内事業所を対象に実施されることから、回答者の負担とならないよう設問内容や量に配慮すること、国調査の結果を分析に活かすことに留意。 		
委員意見の反映 <ul style="list-style-type: none"> ○（3）地域包括支援センターの項目はケアマネジメントでなく地域なので市への要望に入るのではないか。 ⇒問 21 に移動。 ○終末期ケアへのケアマネジメントについて聞き取りがあってもよい。 ⇒「第 8 期調査設計に当たって」記載の方針により今回は割愛。 ○入退院の連携状況についても聞き取りしたらよい。 ⇒「第 8 期調査設計に当たって」記載の方針により今回は割愛。 ○圏域ごとの課題や主任ケアマネジャーの役割理解、期待する事などがあってもよい。 ⇒「第 8 期調査設計に当たって」記載の方針により今回は割愛。 ○介護家族の支援についての設問も必要。 ⇒「第 8 期調査設計に当たって」記載の方針により今回は割愛。 		

⑧ 在宅医療と介護に関する調査

設問数	前回	今回
	46 問（付問含む）	46 問（付問含む）
主な変更点 <ul style="list-style-type: none"> ・問 50 に「地域での自分に求められている役割」を追加。 		
委員意見の反映 <ul style="list-style-type: none"> ○調査対象が訪問看護利用者である理由が知りたい。訪問看護は利用していないが、薬剤師の訪問や訪問診療を受けている人もいるのではないか。 ⇒調査対象者をおある程度絞るため、「令和元年 8 月に介護保険の訪問看護を利用した方」とした。 		

⑨ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

設問数	前回	今回
	65 問（付問含む）	65 問（付問含む）
主な変更点 <ul style="list-style-type: none"> ・東京都介護予防推進支援センターからの提案を参考に、「地域での自分に求められている役割」についての設問を追加。（問 50） ・東京都介護予防推進支援センターからの提案を参考に、「友人・知人に会う頻度」についての選択肢を調整。（問 56） 		
委員意見の反映 <ul style="list-style-type: none"> ○（8）健康の設問に、介護予防に関する具体的な内容があった方がよい。 ⇒「第8期調査設計に当たって」記載の方針により今回は割愛。 ○西東京市の高齢者支援の介護予防施策の中で「フレイル予防事業」を知っているか、と、参加しているかを聞いてほしい。 ⇒「第8期調査設計に当たって」記載の方針により今回は割愛。 		

⑩ 医療機関調査

設問数	前回	今回
	80 問（付問含む）	75 問（付問含む）
主な変更点 <ul style="list-style-type: none"> ・退院調整部局に関する設問を精査・割愛。 ・問 18「医療と介護との連携についての今後の意向」を追加。 		
委員意見の反映 <ul style="list-style-type: none"> ○（特になし） 		

⑪ 在宅介護実態調査

設問数	前回	今回
	58 問（付問含む）	58 問（付問含む）
主な変更点 <ul style="list-style-type: none"> ・要支援・要介護認定の更新・区分変更申請時に聞き取り調査で実施するため、本人及び主な介護者の実態について簡潔に伺う（従前通り） 		
委員意見の反映 <ul style="list-style-type: none"> ○（特になし） 		